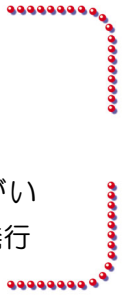




園 だ よ り 3 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2023 年 3 月 3 日 発行



「^{つよ}強く、^{お お}雄々しくあれ」 ヨシュア記 1 章 6 節

毎年、沈丁花の花に春の気配を感じ、香りと共に卒業のシーズンに気づかされます。

年度の終わりの月には一人ひとりの気持ちの中で区切りを感じることができたと思います。予定通りになったことも思い通りにならなかったこともありました。心が躍る楽しいことも、いつまでも忘れられない傷が心に刺さったこともあったかもしれません。気持ちを整えて、清しく 3 月を終えることができますようにと祈ります。

今年は年長児「にじ組」の 13 名が小学校へと巣立ちます。保育園で日々生活し、一人ひとりの道筋で立派に自立しました。6 歳までの記憶は後に薄れるかもしれませんが、ずっと心と身体の育ちの根っことして血となり肉となっていくことでしょう。いっしょにすごした時を慈しみ、今年度で園を去る子どもたち、ご家庭のみなさまにエールを送ります。

21 世紀に生きる子どもたちです！価値観が進化し、社会も文化も新しくなって、世界は今までと異なっていくのだと思います。未来を信じ、希望を抱いて若いエネルギーがまっすぐに進めるように、大人は伴走し、見守りたいと思います。

「強く、雄々しくあれ」とは神様が約束した土地を目前にした時、民に言われた言葉です。さらに「うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。」と続きます。

園も無事に 3 月を迎えられました。みなさまのご協力とお支えに感謝し、新たな年度にこれまで以上の豊かな恵みがありますようにと祈ります。そして、新しく園のメンバーになる方々を暖かくお迎えできることを願っています。

(園長 今井 世都)

● 3月の行事予定 ●

- 7日(火) 身体測定(乳児クラス)
- 10日(金) 身体測定(幼児クラス)
避難訓練
- 16日(木) 内科健診(0歳児)
- 11日(土) 卒園式(4・5歳児)
- 23日(木) 礼拝
- 24日(金) クラス懇談会(5歳児)
17:00~
- 28日(火) 誕生会(幼児)

5歳児Sちゃんは折り紙でピンクのリボンを作ってくれました!

● ピンクシャツデー ●

2月22日(水)はたくさん子どもたちがピンクのものを身に付け登園しました。皆さまのご協力に感謝です。

幼児クラスでは、1月の礼拝に引き続き、当日の礼拝でも、“よきサマリヤ人”(困っている人に寄り添い、助けることのたとえ話)について伝えました。子どもたちと一緒にピンクシャツデーがどういう日なのか、いじめについて改めて考える時を持ちました。子どもたちは、「ピンクのシャツを着る日」、「だれにでも優しくする日」など積極的に発言していました。



お知らせ

- ◎ 3月10日(金) 消火避難訓練は、東日本大震災を忘れないようにするために世田谷区が実施するいっせい防災訓練(シェイクアウト訓練)に参加します。
時 間: 9時30分~1分程度
場 所: 保育園内
内 容: 3つの身を守る行動をとります。
① まずひくく(DROP) ② あたまをまもり(COVER) ③ うごかない(HOLD ON)
是非、地震に備えた取り組みをご家庭でも実践してみましよう。
- ◎ 新年度準備のご協力のお願い
3月25日(土)までにロッカーの荷物を全て袋に入れて持ち帰ります。名前の書いてある袋をご用意ください。
持ち帰った衣服のサイズ、数量、記名など確認していただき、27日(月)までに整えて園に持ってきてください。よろしくお願いいたします。
- ◎ 2023年度の災害・緊急連絡票を近日中に配布いたします。3月31日(金)までに記入していただき、担任に提出してください。また、その他の必要書類も記入をして提出いただくようお願いいたします。年間行事予定表は別途、配布します。

● 3月のクラス目標 ●

- 0歳)・自分の思いを保育者に受け止めてもらいながら、様々なことへの興味が広がり自ら関わろうとする。
・戸外で身体を動かしたり、自然に触れたりして保育者と楽しく遊ぶ。
- 1歳)・自分の気持ちを豊かに表現し、保育者や友だちと関わる。
・友だちや身近な大人に興味を持ち、真似たり、見立てたりして楽しく遊ぶ。
- 2歳)・保育者の見守りと励ましの中で身の回りのことを自分でやってみようとする。
・保育者や友だちと思いきり走ったり、遊具を使って遊んだりして、全身を使った多様な動きを楽しむ。

- 3歳)・進級する喜びを感じながら、友だちと一緒に遊び、楽しく過ごす。
・友だちと一緒にタンバリンやすすなどの簡単なリズム楽器を使って遊んだり、歌を歌ったりして音楽に親しむ。
- 4歳)・身についた生活習慣に自信を持ち、見通しをもって生活する。
・友だちと一緒に異年齢児と触れ合う心地よさを味わう。
- 5歳)・身近な人に感謝の気持ちをもって関わる。
・一人ひとりが自信をもってクラスの仲間とできることを考え、出し合って生活する。

クラスだより 3月号

YMCA 保育園ねがい

2023年3月7日 発行

ひかり（0歳児）

子どもと保育者との関わりから、最近では友だちに興味を持ち始め、関わろうとする姿が見られてきました。食べ物のおもちゃを渡し合って食べさせ合ったり、棚の陰に座り「あー」「うー」等のおしゃべりに“うんうん”と頷いていたりして、子ども同士でやり取りする姿が微笑ましい光景です。また、ミルクを飲んでいる友だちを見つけると、哺乳瓶を持って一緒に飲ませてみようとしたり、遊んでいる時に頭をなでてみたりして、共に過ごしてきた人達との関わりに喜び合う様子がたくさんありました。

2月には、きらきらウィークがあり、幼児組のお兄さんお姉さんがひかり組の部屋に来て、招待してくれました。1日目には戸惑いや緊張が見られましたが、2日目には、幼児組が迎えに来てくれた途端“まっぴー”と言わんばかりの表情で、自分から進んで手を繋ぎに行こうとする姿が見られました。とんとん相撲や手作りのこま、魚釣りで一緒に遊び、ひかり組に戻った後にも幼児の部屋を見て指差ししたり、保育者の目を見てもう一回行きたいことを伝えたりしていました。それ以降も、お兄さんお姉さんが園庭で遊んでいると、近くに行ってみようとし、タッチをしてもらったり、もっと関わろうとする姿へと変わってきました。保育者が他クラスの友だちと関わる姿から親しみを感じ、興味を持ったり保育者と一緒に遊んでみたりして、自分から関わろうとする気持ちの芽生えを大切に、これからもありのままの姿を温かく見守ってきたいと思います。



かぜ（1歳児）

保育者や友だちの名前を覚えてきて、「〇〇は？」と名前を言って、今、どこに居るのか探し始める様子が見られます。また、誰かが遊び始めると、周りの友だちがその遊びに興味を持ち、自然とみんなで集まって遊んでいます。その他にも、友だちと大好きな歌を歌ったり、言葉も使って一緒に遊んでみたりする中で、「おもしろいね」「いっしょだね」と顔を見合わせる、休みの日の出来事を保育者や友だちに伝えてみるといった、言葉のやりとりを楽しむ姿が多く見られてみました。一緒に過ごす時間が長くなると、同じおもちゃが欲しいといった気持ちがぶつかり合うことがあり、思い通りにならない悔しさや悲しさを感じる場面も見られるようになってきました。ある時には、悲しんでいる友だちに「どうしたの？」「大丈夫？」と聞きながら頭を撫でたり、そっと他のおもちゃを持って行ったりして、友だちの表情や様子に寄り添おうとしていました。笑い合い、気持ちをぶつけ合い、寄り添い合いなど、大好きな友だちと過ごす中で、様々な成長が見られました。

これからも様々なことに、自分でやってみたいと思う気持ちが芽生えていきます。そして、できた嬉しさやできなかった悔しさなどに始まり、これから色々な感情に出会う機会が多くなってきます。一人ひとりの「自分で」の気持ちを受け止め、思う存分に多くの「チャレンジ」ができるようにしながら、保育者や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じて過ごしていきたいと思います。

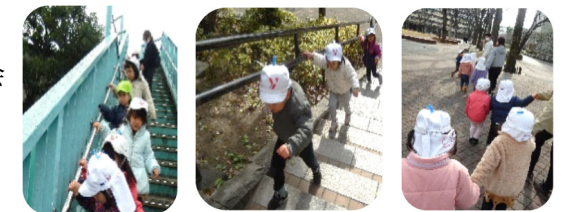


そら（2歳児）

園庭にて手押し車で遊ぶと、ある子は、「見てて」と言って、いかに速いかを披露していました。また、ある子は、4個の丸太を積み乗せ、「ごみ収集車なの」と言って、力いっぱい車を押し運び、決めたところに降ろしたり積んだりを繰り返していました。また、ある子は、ダンプトラックのつもりで土の塊を積んでから、「一緒に走ろうよ」と保育者にタイヤを転がしてもらい、並走をしていました。手押し車一つで、自信に満ちた姿、なりきる姿、関わろうとする姿とあらゆる成長が見られました。

散歩に行く機会を通して、手繋ぎして歩く楽しさを感じ、出発前から繋ぎたい子を決めて自分から繋ごうとしたり、手繋ぎしながら「緑の自転車、持ってる」などとお話に盛り上がっていたりする様子が見られてきました。みんなで移動する楽しさと、一人一人の自信が育まれ、散歩の通り道にある歩道橋の階段に、「ちょっと怖い」という気持ちを持ちながらも、保育者と友だちと共に挑戦する思いを胸に、子どもたちそれぞれが力強く手すりを握りながら、自身の力で上りも下りも歩いて、橋を渡り切ることが出来ました。

お気に入りの友だちを作り、もっと友だちと関わろうとする気持ちが、時に、自分の思いを伝え抜きたいあまり、気持ちがぶつかり合う様子が多くなりました。その都度、保育者が仲立ちとなり、子どもたちが気持ちを出し合うことで、それぞれに思いがあることを知り、友だちという存在に気付く、子どもたちの成長に大切な機会にもなっています。友だちとの関わりに伴う、目には見えない心の動きを大切に、過ごしていきたいと思います。



ほし、つき、にじ（3、4、5歳児）

工作が大好きな子どもたちは、日々、様々なものを作っている中で、きらきらデイを迎えました。日常で楽しんでいる遊びを、小さい子と一緒に遊んでみたいという期待を持ちながら、毎日の色々な時間に、色々な場所で工作に取り組む姿が見られました。

ほし組は、折り方を覚えた折り紙から「とんとん相撲」、大好きなコマ遊びから「牛乳パックコマ」の工作をしていました。力士の顔を色々な表情に工夫する子がいたり、コマを回した時に模様がどうなるかを考えて絵付けしたりする子がいたり、思い思いに楽しむ姿が見られました。

つき組は、図鑑や絵本で調べた魚をもとに、折り紙や描写で、海の生き物や釣り竿の工作をしていました。ポスターは、それぞれに工夫を凝らし、文字を添えて各組に配布したり、貼り出したりしていました。にじ組の子からリールの付いた釣り竿の作り方を教えてもらう等、異年齢児で関わり、得意なことを活かしている様子が見られました。

にじ組は、どんなお店にするかをみんなで話し合い、担当するお店ごとに友だちと協力しながら工作をしていました。当日は、にじ組ならではのユニークなお店屋さんが並び、売り切れもあり、お店屋さんの間も工作が続いていました。

異年齢間でお互いに刺激を受け合い、心も身体も大きく成長した子どもたち。きらきらデイを機に、他クラスの友だちに対する思いやりの心が育ちました。優しく話しかけたり手を差し伸べたり一人ひとりが温かいまなざしと共に、小さい子と関わろうとする姿に保育者も思わず笑顔になる瞬間が日常に加わりました。

ほし、つき組は、色々なことを教えてくれたにじ組の友だちに。にじ組は、お世話になった人みんなに「ありがとう」を伝え合う心地良さを大切にしていきます。

